



やまなしの青少年



目次

「家庭の日」「青少年を育む日」ポスター 知事賞受賞作品と表彰式	1
会長あいさつ 「携帯電話・スマートフォンの安全利用指導教員養成講座」の開催 ...	2
「家庭の日」「青少年を育む日」ポスター募集事業 あいさつ・声かけ運動	3
「少年の主張」最優秀作品	4
「少年の主張」山梨県大会 青少年関係団体等ネットワーク事業	5
子ども・若者の底力を信じて	6
県民会議事業に期待すること	7
青少年・青少年育成功労者等の表彰 「子ども・若者支援フォーラム」開催 賛助会員のみなさま 編集後記	8



ごあいさつ

青少年育成山梨県民会議事業実行委員会 会長 山田 文夫

県民の皆様には、爽やかに新しい年をお迎える事とお慶び申し上げます。また、当会の事業に対しましてご支援ご協力を頂いております事、心から感謝申し上げます。

さて、当県民会議も永年に亘り県民の皆様のご理解ご協力を頂きながら、青少年の健全育成のための様々な事業を行って参りましたが、この度組織体制の見直しを行い、新たに公益財団法人山梨県青少年協会の一組織としてスタート致しました。具体的には、青少年協会内に「青少年育成山梨県民会議事業実行委員会」として組織化し、事業を行っていき事になりました。組織体制は変わっても、これまで以上に様々な工夫をこらして事業を行ってまいります。

これからも青少年の健全な育成のため、市町村民会議や、青少年のための様々な取り組みを行っておりますNPO法人等との連携を深めながら頑張参りますので、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

ところで、青少年を取り巻く環境は昨今の社会環境の変化と共に大きく変わってきております。

いじめ、ネット、スマートフォンなどによる被害、犯罪の低年齢化、薬物、貧困格差等、多くの問題

が提起されています。特に、最近はスマートフォン等の問題が大きく取り上げられておりますが、こうした様々な問題を解決していくには、地域社会の果たす役割は非常に大きいと思います。家庭、学校、地域社会、そして、行政が連携し、一体となって取り組んで行く事が大切です。

当県民会議と致しましても、こうした観点から、子供達が健やかに成長できる環境を目指し、県民の皆様と共に、諸問題の改善・解決を図って参りたいと思います。

多くの皆様方の変わらぬご支援をお願い申し上げますと共に、青少年の明るく健やかな成長を祈りながら挨拶いたします。



「携帯電話・スマートフォンの安全利用指導教員養成講座」の開催

現在、携帯電話は青少年にとって欠かせない道具になっています。また、スマートフォンの急速な普及に伴い、危険性の認識がないままの使用からトラブルに巻き込まれることが問題となっています。そのため、青少年に適切な使用や、その重要性を考えさせることが必要になってきています。

そこで、本年度は、県内の高等学校・支援学校の先生方を対象に、生徒への指導や生徒に携帯電話やスマートフォンの使用について考えさせるためのノウハウを学ぶ研修会を開催しました。講師に下田太一氏(ロジカルキット代表)を招き、大変内容の詰まった研修会が行われ、先生方は、ここで得られたものを今後学校で生徒たちに還元し、よりよいインターネットの活用に結びつけてくれることになると思います。



講師の下田太一氏(ロジカルキット代表)



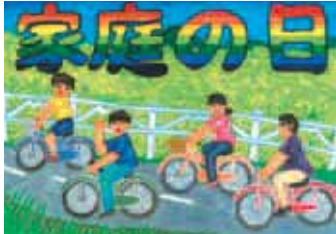
「家庭の日」「青少年を育む日」ポスター募集事業の入賞者が決定!

毎月第1日曜日は「家庭の日」、第3日曜日は「青少年を育む日」です。県民会議事業では、この啓発活動の一環として、毎年、ポスターを募集しています。

今年は、県下の学校と一般から8,297点が

集まり、県民会議事業へ応募された166点の内、20点が入賞しました。表彰式は、10月15日に県立青少年センターで行いました。知事賞・優秀作品は平成27年度版ポスターカレンダーに掲載し、関係機関などに配布します。

山梨県知事賞



塩山南小学校 5年 山元翔太

優秀 山梨県教育長賞



一般 飯島牧子

優秀 山梨日日新聞社賞



富竹中学校 2年 佐藤春郁

優秀 NHK甲府放送局長賞



明見小学校 5年 天野佑衣子

優秀 山梨放送賞



千塚小学校 6年 君島朋子

優秀 テレビ山梨社長賞



塩山南小学校 3年 石井貴瑛

優秀 青少年育成山梨県民会議会長賞



白根御勅使中学校 1年 朝比奈未来

優秀 青少年育成山梨県民会議会長賞



牧丘第三小学校 5年 竹川歩夢

優秀 青少年育成山梨県民会議会長賞



田富中学校 3年 深澤愛菜

優秀 青少年育成山梨県民会議会長賞



下吉田中学校 1年 渡邊大雅

佳作 青少年育成山梨県民会議会長賞

双葉中学校	1年	赤松	明
境川小学校	1年	芦澤	拓磨
明見小学校	3年	天野	凜花
豊富小学校	4年	有泉	京香
若草小学校	4年	石川	紗希
下吉田第二小学校	2年	井上	隼輔
富士小学校	3年	土屋	友星
小立小学校	6年	古屋	奈保
睦合小学校	2年	望月	玲
下吉田東小学校	6年	渡邊	希帆

11市町村で「あいさつ・声かけ運動」街頭キャンペーンを実施

7・8・11月に、各青少年育成市町村民会議・推進協議会が、11市町村の駅やショッピングセンターなどで、県民会議事業実行委員とともに「あいさつ・声かけ運動」街頭キャンペーンを行いました。

8月3日「青少年育成富士川町民会議」街頭キャンペーンの様子▶





誇りをもって



甲州市立 塩山中学校 3年 風間 悠花

世界では、宗教や性別など、様々な人種差別がある。差別をされると誰もが心を痛めつけられる。その嫌な思いを表に出さず、ユーモアで対応した人物がいる。

平成26年、4月27日、サッカー、スペインリーグの試合中に観客からバナナが投げ込まれた。黒人のアウベス選手に対して、サル扱いをする人種差別だった。これまでも黒人に対して「サル」と呼んだり、「サル」の鳴き声をするなどして侮辱する人種差別があった。以前にもバナナを投げ込まれたことがあったそうだ。今回の「バナナを投げ込む」行為に、アウベス選手はバナナを口にし、何事もなかったように平然とそのままプレーを続けた。

観客は選手に声援を送り、プレーをたたえに来ているのではないのでしょうか。差別をしたこの観客はどんな思いでバナナを投げ込んだのでしょうか。そして、アウベス選手はどんな思いだったのでしょうか。傷つかなかったはずはありません。しかし、堂々と胸をはり毅然と対応したアウベス選手。私はサッカーをするためにここにいる。他の選手と同じように全力でプレーするだけである。彼はそう言っていたのでしょうか。その姿は誇りに満ちて、まぶしくさえあり、バナナを投げ込み差別のヤジをとばす観客と、どちらが恥ずべき行為であるかは明らかでした。「人は皆平等である」と世界中に知らせてくれた勇気のあるすばらしいファインプレーです。

このニュースを調べる中で世界には人種差別に科せる懲役刑があることを知りました。ドイツ5年、イギリス7年など。そうしなくては人種差別を止めることができないのかと、考えさせられました。

私自身は、今まで差別の気持ちを抱いたことがなかったらうか。私は陸上部に所属しています。練習で近くの競技場に行ったときのこと、一人肌の黒いアフリカ系の男性が目に入りました。周りの人よりもはるかに背が高く、足は体の半分以上もありました。ついその人を目で追ってしまいました。自分とは違う人間、という気持ちが大きかったからでしょう。しかし、私と同じ陸上競技に取り組んでいます。きっとその人も辛い練習を、仲間と励まし合い、乗り越えていることでしょう。

肌の色が違って、顔つきや体つきが違って、同じ一人の人間です。「人間は皆同じ。でも人間は皆違う。」その違いを認め合い、個性を尊重し合っていくことが何よりも大切なことではないでしょうか。友達同士の関係でも、仲の良い友達だけではなく、あまり関わりがなかった人ともつながりを深めていくことが必要です。自分と違うところを安易に遠ざけるのではなく、自分から寄り添っていったとき、新しい発見ができると思います。また、改めてその人のよさを知ることができるでしょう。このようなことが、人種差別をなくすことにつながるのではないのでしょうか。今思えば、あの時会った黒人の陸上選手にあいさつができなかったことが悔やまれます。

一人一人が人間として、互いに尊重し合い、違いを受け入れられるようになったとき、世界の人種差別問題はなくなるでしょう。自分の周りの差別に敏感になり、皆が自分の民族、個性に誇りをもって堂々と暮らせる世の中になるようにしていきたい、そして自分自身に誇りをもって生きていきたいです。

第36回「少年の主張」山梨県大会

「少年の主張」山梨県大会は、本県の中学生が物事を論理的に考え、自らの主張を正しく理解してもらおう力を身につけるよう、毎年開催しています。今年は、県下19校の中学生から695点の応募があり、審査で選ばれた12名の生徒が、8月23日に県立青少年センターで意見を発表しました。また、当日は、山梨英和中学校・高等学校マンドリン部の生徒による演奏が行われ、山梨県大会を盛り上げていただきました。

大会で発表した中学生と審査員の皆さん▶



大会結果



(写真上)「少年の主張」を発表する生徒
(写真下) 山梨英和マンドリン部による演奏

最優秀 (山梨県教育長賞)	誇りをもって	風 間 悠 花	塩山中学校 3年
優 秀 (NHK甲府放送局長賞)	当たり前の毎日を生きること	穠 山 あかり	駿台甲府中学校 3年
優 秀 (山梨日日新聞社賞)	心の声	梅 田 美 希	富竹中学校 3年
優 秀 (山梨放送賞)	温かい心の連鎖	小宮山 遼	山梨英和中学校 2年
優 秀 (テレビ山梨社長賞)	NOT ALONE ~伝えたい僕たちが創る平和~	鶴 崎 新 治	下吉田中学校 3年
優 秀 (青少年育成山梨県民会議会長賞)	共感が生み出すもの	今 村 光 臣	山梨学院大学附属中学校 3年
優 秀 ()	「僕の出来るボランティア」	小 林 蒼	敷島中学校 3年
優 秀 ()	本当の幸せ	塩 澤 樹	塩山中学校 3年
優 秀 ()	あきらめないにげないごまかさない	手 塚 花 菜	竜王中学校 3年
優 秀 ()	毎日磨いて好きになる	中 村 洋 輝	山梨南中学校 3年
優 秀 ()	“我慢する大切さ”	中 村 ゆりあ	笛川中学校 2年
優 秀 ()	日本人の心とグローバル化	橋 山 優 花	山梨大学教育人間科学部附属中学校 1年

※敬称略・優秀(青少年育成山梨県民会議会長賞)は50首順

青少年関係団体等ネットワーク事業

「ネットワーク会議開催で、“交流”を深める」

2年目となるこの事業は、「つながり・連携」を大きなテーマとし、青少年健全育成のために活動している、青少年関係団体等が互いの活動状況を理解し合い、連携することで、より一層活動の場を広げることを目的に事業を展開しています。

今年もネットワーク会議を3回開催し、来年1月にはフォーラムを開催する予定です。

5月30日に開催した第1回の会議では、多くの団体が参加し、自己紹介や活動の成果と課題を発表しあい、今後の連携の方向性について確認しました。そして、第2回(7月2日)・第3回(12月11日)と会を重ね、「つながり・連携」をテーマに事例発表を行うことで、ネットワークを強めることができました。

1月17日には第2回「子ども・若者支援フォーラム」を開催する予定です。



第2回ネットワーク会議の様子

ジュニアリーダー研修 ～リーダーを目指して一歩ずつ～

南アルプス市教育委員会
生涯学習課 青少年担当 長谷部 寿仁

南アルプス市では、市内在住の小学6年生・中学1～2年生を対象に、夏休みの期間中に1泊2日のジュニアリーダー研修を開催しています。

そのなかで小学生をリードするのは、月に1回リーダー養成研修に取り組んでいる中学生です。宿泊研修を更に充実させるために加えた、昨年度から始めたこの養成研修は、小学6年生のときに宿泊研修に参加した生徒に募集をかけ、宿泊研修において小学生の指導を行うことを目標に、県レクリエーション協会の指導のもとに行っています。月に1回顔を合わせることで交流を深めながら、同じ目標に向かっ



て取り組んでいるという意識をもち、良いチームワークを築いてきました。

その成果として、宿泊研修では中学生が集団の先頭に立ち、遊びや仲間作りで自分たちなりの工夫を多く見せていました。「リーダーの難しさや面白さを発見できた」という感想も聞かれ、異年齢の仲間との交流で視野が広がったように感じられました。小学生はそんな中学生が良いお手本となったようで、「私は来年もさ来年も参加するんだ」という意気込みを語ってくれました。

集団の先頭に立って活動を進め、まとめることは大人でも難しく、勇気がいることです。ひとりでも多くの子どもに一歩を踏み出せるきっかけを与えるためにも、さらに充実した研修にしていきたいと思えます。



育てよう青少年の主体的な活動

シリーズ

子ども・若者の底力を信じて

子どもや若者が主体的に取り込む社会体験や自然活動などを紹介します。

富士吉田市教育委員会 生涯学習課
青少年担当 主事 高尾 慧

富士吉田市では、青少年健全育成事業として、8月5日と6日に、青少年センターで、市内の小学校高学年を対象に「みんなで1つの目標に向かい達成する実感を得る」ことを目的とした、初めての体験楽校を行いました。

2日間の体験楽校、子ども達は楽しげな表情をして青少年センターに集まりましたが、知らない子ばかりで戸惑っていました。そこで、スタッフの自己紹介を行った後、簡単な体操や数合わせなどのアイスブレイクを行い、子ども達の緊張をほぐしました。望遠鏡作りやうどん作り、竹を自分たちで切ったの箸・入れ物作り、カレーをみんなで協力して作る頃には、戸惑いもすっかり消えている様でした。夜には、キャンプファイヤーを行った後、自分たちで作った望遠鏡で天体観測を行いました。2日目には、長い長い流しうどん台をみんなで協力して作りました。竹を鉋やハンマーを使って縦に割り、みんなで相談しながらルートを



決めて3mもの大きな竹を協力して運んだり、紐で土台を縛ったりしました。みんなが長い長い流しうどん台を作ろうと1つの目標に向かい、懸命に活動していました。やがて「10・9・8・・・」と全員でカウントダウンを行い、「0」の掛け声と共に、前日に作ったうどん台で流しうどんを行いました。このキャンプで「みんなが目標に向かい、協力し合うことの楽しさや大切さを肌で感じてくれた」と思いました。子ども達の好奇心や向上心を尊重し、育成することが私たち大人の仕事なのだと実感しました。

仲間と協力し、普段の学校生活ではあまり触れないクラフトナイフや鉋、のこぎりなどの道具を使うことは貴重な経験になったと思います。自分の力で竹を割った時の子ども達の笑顔は、達成感であふれていました。今回、未熟な私ですが、市内関係者はじめ大勢の人達の支えもあり、体験楽校を開催することができました。今後も「子ども達の健全育成へと繋がるような事業を積極的に行っていきたい」と思いました。



わたしは県民会議事業に期待します!

見えない子どもの貧困

NPO法人フードバンク山梨 理事長 米山けい子



フードバンク山梨は、食べ物
を支援する視点から「青少年関
係NPO法人等ネットワーク会
議」に参加しています。今年8
月、フードバンク山梨が支援し
た子どものいる世帯に「子ども
の食生活について」のアンケ
ートをおこない、70世帯からの回答をまとめまし
た。そこから浮かび上がってきたのは、1日平均
1人362円の食事、これは1食120円となり
ます。また、食事内容も主食のみが多く、特に
野菜等の料理はほとんど食べていないことが明か
になりました。

日本における貧困は海外の飢餓の状況とは異
なり、目に見えない貧困と言えるでしょう。

子どもたちは空腹であるものの、1日平均362
円の食費で食事をとっています。衣類も、今はいた
だき物や安い衣類があります。しかし、食事内容が
ご飯+納豆、ご飯+ふりかけ、食パンのみ等。

調査の記述の回答では「子どもに申し訳ない」「食
事をあまり食べなくなった」「これを食べたら朝ご
はんあるの?」と心配し、ストレスになり泣き出す。

「食事の時間がお通夜のよう」「子どもと1つのラー
メンを半分にした」「おいしくないものを無理にた
べさせてトラウマ」、調査からは、多くの当事者の
方々からの悲痛な声が聞こえてきました。

ただ救いに思ったのは、フードバンク山梨の支
援についての回答の中で、感謝、おかげで助かっ
た、ありがたかった、「子どもも箱を開けるのが
楽しみ」「心にも栄養を頂いた」「宝箱を開ける感
じ」「子どもの喜ぶ顔が見れて嬉しかった」等々、
ほとんどの方々からの明るい声を頂けたことです。

その感謝やおかげ様という言葉には、私達が日
常食べ物を頂いて「ありがとう」ということばと
は比べものにならない重みを感じます。

想像してみてください。明日の食べ物をどうしよ
うかと考えている方々にとって、私達からの1箱
の食糧支援がどれ程心の安定につながったのか。

フードバンクが、全国で“食”を必要としている
方々の為に役割を果たす為に、政策的な支援と、
それを後押しする社会全体の気運が必要です。青
少年育成山梨県民会議事業とともに、次世代の貧
困の連鎖を防止する取り組みを推進できるよう期
待しています。

青少年の健全育成は社会の責任である

青少年育成甲府市民会議 会長 剣持 武範



甲府市民会議は、青少年の健
全育成を目的に、創設45年が
経過しました。

福祉部児童育成課の事務局と
市内28地区の育成会とで運営
委員会を組織し、2つの分野で
活動しています。1つ目は、事
務局と各地区代表役員で構成している3部会が、年
間を通じて様々な活動(地区実践報告会、部会研修
会、ジュニアリーダー研修会、作品募集、補導活動、
その他)を実施、2つ目は、28地区の育成会によ
る独自の活動を実施しています。

私から市民会議活動に対して提案していること
は、これからの青少年健全育成のための新たな活動
内容を選択し、導入するようお願いをしております。
市民会議としては、市民の皆さんのご期待に
沿えるような青少年の健全育成のために、各種団体
とも連携して努力していく所存です。

8年前、内閣府において、青少年育成国民会議
が解散する事になりました。

関わっていた私を含めて関係者の多くが大変心
配したことは、青少年健全育成活動への影響は今後

どうなるのだろうかと言う事でした。そして、各会
の弱体化を防ぐために全国の県民会議と市民会議
は、今後の青少年健全育成の活動内容をどのように
維持・継続するのか、更に改善を加えながら実施す
ることが、将来の日本を担う青少年育成のために地
域社会が真剣に、真摯に取り組むべき重要課題であ
ると思いました。

青少年育成山梨県民会議事業への期待としては、
市町村市民会議の結束と、これまで積み上げてきた県
民会議としての諸事業の展開を更に前進すること
です。また、青少年の健全育成は県民全ての願い
であり、常に対応し、取り組むべき社会の課題でも
あります。



第9回総務部会主催研修会の様子

平成26年度青少年・青少年育成功労者等の表彰

7月10日開催の「青少年の非行・被害防止県民大会」において、青少年・青少年育成功労者等の表彰式が行われ、善行表彰など、個人14名、青少年育成4団体が表彰されました。



表彰式の様子

表彰者（団体）のみなさま

自主活動表彰 (青少年団体)	青少年ボランティアサークル甲斐緑隊	代表 畑野 ゆいな
育成指導表彰 (育成団体)	一般社団法人ガールスカウト山梨県第9団	代表 小池 洋子
〃	忍野ユネスコ協会	代表 長田 五月
〃	ボーイスカウト塩山第1団	代表 栗原 宣如

表彰者（個人）のみなさま

善行表彰 (青少年)	河野 静香	甲府市青少年ジュニアリーダー
育成指導表彰 (指導者)	青柳 勇	(元) 諏訪警察署管内少年補導員連絡協議員
〃	金丸 ミツ子	山梨県レクリエーション協会
〃	重原 千恵子	ボーイスカウト都留第1団
〃	奈良 篤	上野原剣道スポーツ少年団 青少年育成上野原市民会議
〃	増倉 重子	青少年育成大月市民会議
〃	望月 裕	青少年育成甲斐市民会議 青少年育成甲斐市竜王地区市民会議
育成指導表彰 (育成功労者)	石川 清美	甲斐市青少年育成カウンセラー 青少年育成甲斐市敷島地区市民会議
〃	梅谷 正典	青少年育成都留市民会議
〃	岸本 一成	諏訪警察署管内少年補導員連絡協議員
〃	坂本 眞	青少年育成山梨市民会議
〃	日向 勝	青少年育成武川町市民会議
〃	古屋 正	青少年育成南アルプス市民会議
〃	依田 茂	青少年育成富士川町市民会議

第2回「子ども・若者支援フォーラム」

開催日時

平成27年1月17日(土)
13:00 ~ (受付12:30)

会場

県立青少年センター
リバース和戸館1F 体育室

内容

「ひきこもり」からの脱却を支援するNPO団体の活動紹介。
「ひきこもり」経験者を交えた講演を聴き、地域や団体が連携して行う「山梨県」の青少年健全育成について考える。

<第1部> 13:10 ~ 「基調講演」

講師：NPO法人ニュースタート事務局 二神 能基

<第2部> 14:20 ~ 「ワークショップ」

講師：bond place(ボンドプレイス) 小笠原祐司

大勢の皆さんのご参加をお待ちしております。

賛助会員のみなさま

(敬称略・50音順)

個人会員

笠井 勲	甲府市	学校法人富士修紅学院	サントリー酒類(株)白州蒸溜所
川添 明	埼玉県白岡市	(株)長田玉夫商会	清水工機(株)
志村 一馬	南アルプス市	(株)三愛印刷	都留信用組合
種田 一夫	甲府市	(株)テレビ山梨	日東物産(株)
堀江 清敬	甲府市	(株)はくばく	富士観光開発(株)
山田 文夫	甲府市	(株)早野組	HOYA(株)長坂事業所
若尾 明彦	甲府市	(株)藤二誠	(有)池川薬局
		宏和建设(株)	(有)荻野造園

法人会員

編集後記

本誌は昭和43年5月に第1号が発刊され、県下の青少年育成に関する情報誌として大きな役割を果たしてきました。しかし、本年度をもって閉刊となることは非常に残念でなりません。今後は、青少年育成山梨県民会議のHPに掲載されますが、県民の皆様も毎年1回はHPを開いて下さい。私は青少年が夢と希望を持てる社会づくりに、青少年育成の中核である青少年育成山梨県民会議の役割は重要であると思います。そのため、県下の企業・青少年団体・NPO・関係機関の協力を得て、自立できる組織の再構築が当面の課題と思っております。今後も、青少年育成山梨県民会議のHPを通じて県民の皆様のご意見をいただき、中味の濃い広報ができるよう心がけていきたいと思っております。

青少年育成山梨県民会議事業実行委員会
実行委員 笠井 勲